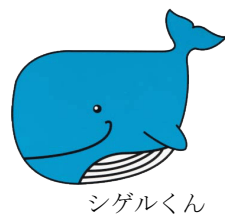


# シゲルくん通信

2020年  
5月号  
NO. 85



こんにちは 防水工事の茂興業 社長の高橋英樹です。  
春から梅雨の季節へと変わっていく日々です。  
5月の株主総会・取締役会で新しい役員体制になりました。  
新型コロナウイルス感染が続く毎日ですが、  
明るく笑顔で活動しています。ことだま千絵子さんから  
疫病退散「アマビエくん」を描いていただきました。  
元気が湧いてきます。



こんにちは。もう5月なんですね。今日は我慢と辛抱について私なりに考えてみました。嫌なことを耐え忍ぶのが我慢。好きなこと(大切な人やコト)のために耐え忍ぶことが辛抱。我慢の中には不満があり、辛抱の中には希望があると思うのです。

▲文・絵：ことだま遊書@作家：ことだま千絵子

## 2020年度 新役員のご紹介

2020年度新たに役員として2名が就任致しました。  
これからも茂興業は、より一層皆様に愛される企業として  
全力を尽して参ります。



▲ 2020年度 新役員



▲ 取締役専務  
増村 文武

『社員全員高いスキルとプロ意識を持ち、やりがい満ちて仕事に取り組める明るい会社、そしてお客様に当社独自の価値あるサービスと満足御提供させて頂ける会社をより一層目指します。』



▲取締役常務 高橋 剛  
社員の皆様方が安心して業務に従事できるように社内の環境を整えて参ります。



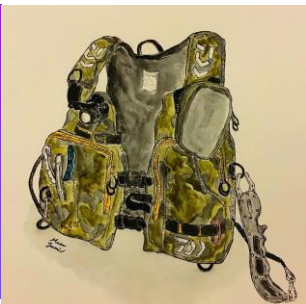
▲ 相談役 吉井 清  
「3K」感・経験・度胸

☆シゲルくん通信の第85号をお届けします。次回のお役立ち情報をお楽しみに☆





★毎月掲載している挿絵はこちらどうぞ。インスタ始めました。



『脱三蜜空間の砂浜で ゆったり釣りをしよう!』

こんにちは(人^人) 自称、茂興業内で一番の映画好き、増村文武です。

今回はいつもとは形をかえまして、今、私が感じていることを記します。

### 【私が今感じていること： コロナ禍の人命と 100年先の人命は平等に尊い】

コロナ禍の中で私はあらためて思います。我々人類がウイルス的な行為を地球に対して繰り返してきた結果が、結局今回のこの顛末ではなかったのか? と。

そんな中で、毎日メディアは同じ議論を繰り返します。人命か?経済か? コロナ禍の解決を論争する上でこの2つの観点のみが単純に対峙している現況に強い懸念を感じます。人類のみに都合の良い経済活動を再開すれば、再び地球環境を損傷させて、未知の新たな感染症禍が起り得ると感じます。

我々は目下のコロナ禍での人命は勿論、コロナ後における我々の子世代、孫世代、ひ孫世代と100年先の人命まで考えた上で、最適な舵取りを選択すべきだと思います。

パラダイムシフトという言葉がありますが、社会構造を変えるきっかけが今まさに来ているのだと思います。我々はあらためて良い世界に向かうのか、悪い世界に向かうのかの分岐点に立っています。皮肉な形で我々は地球が発するサインをいま受け止めています。

地球環境に寄り添う新しい経済活動のあり方を今こそ大胆に盛り込み、そこに我々の素晴らしい英知(通信技術やAI・ロボット技術等)を組み込めば良いと感じます。

テレワークのもとに、人の一極集中を避ける地方分散型の経済活動を推進し、ローカル単位で再生可能エネルギーの導入や食糧の自給自足調達を目指し、小規模エリア単位でのゼロエミッションを実現すべきです。結果、複合災害にも強い社会及び地域単位で新たな雇用を創出できる社会に繋がるはずで。

当社茂興業株式会社も、建物長寿命化技術を筆頭に100年先まで人命を守るための地球環境配慮に対して大きく貢献できるノウハウを培ってまいりました。いかに人と地球の両方にとって高い価値のある仕事を提供できるかを考え、コロナ禍を機に更に一步踏み出している前向きな企業活動に取り組んでまいります。

最後に、いつもの映画コラムらしく感染症に関連する映画を3本、今回はすごく簡潔に御紹介致します

- ① 『コンテイジョン (2011年アメリカ映画)』  
CDC(アメリカ疾病予防管理センター)他より助言を受けリアリティを追求した一本、今回のコロナ禍を予見したかのような内容
- ② 『復活の日 (1980年日本映画)』  
小松左京原作、地球上の脊椎動物全てを死に至らしめる強毒ウイルスから生き延びる為に奮闘する南極基地隊員達の人類復活劇
- ③ 『ブラインドネス (2008年日本、ブラジル、カナダ合作映画)』  
視力を失う奇病が全世界で蔓延。奇病の恐ろしさ以上に、非常時の人間の本性の描写が辛い...

### シゲルくんのつぶやき

※たまーにつぶやいています



さあ!旅に出よう!  
チャリで日本一周時の装備品  
前カゴには…テントと寝袋(ビニールにくるんで防水処理)  
後カゴには…リュックサックに装備一式。加えて空気入れ&  
登山用のステッキ(いい山があれば登る!)  
過積載のため2000キロ程度走行するとチャリが壊れる…  
参考:新潟-青森 約500キロ 北海道一周 約2000キロ



気になったら、HP内の社長ブログへアクセス!!  
アマビエくん→

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

茂興業株式会社は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



皆様に支えられて、おかげさまで55周年!!